

絲價安定融資補償法
絲價安定融資損失善後處理法
絲價安定融資擔保生絲買收法

關係法規

(代 謄 寫)

農 林 省 蠶 絲 局

目次

✓ 三六三 三六三	✓ 絲價安定融資補償法……………	一頁
	✓ 絲價安定融資補償法施行期日ノ件……………	七
	✓ 絲價安定融資補償法施行規則……………	九
一五六 一五六	✓ 絲價安定融資損失善後處理法……………	一五
	✓ 絲價安定融資損失善後處理法施行規則……………	一九
七二 七二	✓ 絲價安定融資擔保生絲買收法……………	二一
一八三 一八三	✓ 絲價安定融資擔保生絲買收法施行規則……………	二五
四二 四二	✓ 絲價安定融資擔保生絲買收法ニ依リ買入レタル生絲ノ讓與ニ關スル件……………	二九
四四 四四	✓ 絲價委員會官制……………	三一
	✓ 絲價安定融資補償審查會官制……………	三五
	✓ 生絲需要増進調査會官制……………	三九
	✓ 買收生絲審查會規則……………	四一

● 絲價安定融資補償法

● 法律第十四號

昭和四年三月二十八日公布

第一條 生絲ノ價格ガ一般經濟狀況ニ照シ異常ナル低落ヲ爲シ蠶絲業ノ基礎ヲ危クスル虞アル場合ニ於テ其ノ價格ノ安定ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ政府ハ銀行ガ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ニ對シ主務大臣ノ定ムル條件ニ從ヒ生絲ヲ擔保トシ手形割引ノ方法ニ依リ資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ因リ損失ヲ受クルトキ銀行ニ對シ其ノ損失ニ付補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ニ對シ資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ者ニ對シ銀行ガ前項ノ條件ニ從ヒ生絲ヲ

擔保トシ手形割引ノ方法ニ依リ資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ之
ヲ準用ス

一 生絲ノ問屋

二 主務大臣ガ絲價委員會ノ議ヲ經テ適當ト認ムル者
前二項ノ規定ニ依リ政府ガ損失補償ノ契約ヲ爲スニ付テハ
絲價委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

絲價委員會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 損失補償ノ契約ヲ爲スコトヲ得ル期間ハ本法施行ノ
日ヨリ五年トス

第三條 損失補償ノ契約ニ基キ政府ノ支拂フベキ損失補償金
ノ總額ハ三千萬圓ヲ超ユルコトヲ得ズ

第四條 第一條ノ損失ハ銀行ガ擔保トシテ受取リタル生絲ニ
付債權ノ辨濟ヲ受ケ尙不足アルトキ其ノ不足分トス

前項ノ損失ニ付政府ノ補償スベキ額ハ損失補償ノ契約ニ定
ムル金額ノ制限其ノ他ノ條件ニ從ヒ絲價安定融資補償審查
會之ヲ決定ス

絲價安定融資補償審查會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定
ム

第五條 銀行ガ擔保トシテ受取リタル生絲ヲ債權ノ辨濟ヲ受
クル爲處分セントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ
主務大臣前項ノ認可ヲ爲サントスルトキハ絲價委員會ノ議
ヲ經ルコトヲ要ス

第六條 政府ガ銀行ニ對シテ支拂フベキ損失補償金ハ五分利
附國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

第七條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限
度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

第八條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ主務大臣之ヲ定ム

第九條 損失ノ補償ヲ受ケタル銀行ハ命令ノ定ムル所ニ依リ債權ノ取立ヲ爲シ其ノ取立金ヲ政府ニ納付スベシ
銀行ハ命令ノ定ムル所ニ依リ生絲ノ問屋其ノ他生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ノ爲ニ生絲ノ販賣ヲ爲ス者ヲシテ其ノ取扱ニ係ル生絲ノ販賣代金中ヨリ前項ノ債權ノ取立ヲ爲サシムルコトヲ得

第十條 損失ノ補償ヲ受クルノ契約ヲ爲シタル銀行ガ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ損失補償ノ契約ニ違反シタルトキハ政府ハ契約ヲ解除シ損失ノ全部若ハ一部ニ付補償ヲ爲サズ又ハ損失補償金ノ全部若ハ一部ノ償還ヲ命ズルコトヲ得

第十一條 主務大臣本法施行ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者及第一條第二項各號ノ一ニ該當スル者ニ對シ其ノ事業又ハ財産ニ關スル報告ヲ爲サシメ其ノ事業又ハ財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十二條 本法ノ適用ニ付テハ産業組合中央金庫ハ之ヲ銀行ト看做ス

附 則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

● 絲價安定融資補償法施行期日ノ件

● 勅令第二百五十六號

昭和四年八月十三日公布

絲價安定融資補償法ハ昭和四年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

● 絲價安定融資補償法施行規則

● 農林省令第二十號

昭和四年八月三十一日公布

第一條 農林大臣絲價安定融資補償法第一條ノ規定ニ依リ損失補償ノ契約ヲ爲スノ必要アリト認ムルトキハ絲價委員會ノ議ヲ經テ左ノ事項ヲ定メ之ヲ告示ス

- 一 損失補償ノ條件
 - 二 銀行(産業組合中央金庫ヲ含ム以下同ジ)ノ爲ス資金融通ノ條件
 - 三 絲價安定融資補償法第一條第二項各號ノ一二該當スル者ノ爲ス資金融通ノ條件
 - 四 其ノ他必要ナル事項
- 農林大臣前項各號ノ事項ヲ變更スルトキハ絲價委員會ノ議

ヲ經テ之ヲ告示ス

一〇

第二條

銀行損失ノ補償ヲ受クルノ契約ヲ爲サントスルトキ

ハ申請書ニ融通セントスル資金ノ總額、補償ヲ受ケントスル

總金額並ニ資金ノ融通ヲ爲スベキ營業所ノ名稱及所在地ヲ

記載シ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

農林大臣ハ前項ノ申請ヲ爲シタル銀行ヲシテ損失補償ノ契

約ヲ爲スニ付必要ト認ムル書類ヲ提出セシムルコトアルベ

シ

第三條

農林大臣損失補償ノ契約ヲ爲シタルトキハ契約ヲ爲

シタル銀行ノ資金ノ融通ヲ爲スベキ營業所ノ名稱及所在地

ヲ告示ス

第四條

銀行絲價安定融資補償法第五條第一項ノ認可ヲ受ケ

ントスルトキハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ農林大臣ニ之ヲ

提出スベシ

一 處分セントスル事由

二 處分セントスル生絲ノ數量、品質及保管ノ場所

三 處分ノ時期、場所及方法

第五條

銀行損失ノ補償ヲ受ケントスルトキハ請求書ニ損失

ニ關スル計算書及必要ナル證據書類ヲ添へ農林大臣ニ之ヲ

提出スベシ

第六條

銀行損失ノ補償ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク債權ノ取

立ヲ爲スベシ但シ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ノ事業ノ經

營ヲ困難ナラシムルノ虞アル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テハ銀行ハ其ノ債權ニ付絲價安定融資

補償法第九條第二項ノ規定ニ依リ取立ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ難キ場合ニ於テハ銀行ハ別ニ債權ノ取立

一一

方法ヲ定ムベシ

一一

前二項ノ場合ニ於テハ銀行ハ其ノ取立方法ニ付農林大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第七條

農林大臣ハ銀行ニ對シ債權ノ取立方法ノ變更ヲ命ジ其ノ他取立ニ關シ必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第八條

銀行絲價安定融資補償法第九條第二項ノ規定ニ依リ債權ノ取立ヲ爲サントスルトキハ生絲ノ問屋其ノ他債務者ノ爲ニ生絲ノ販賣ヲ爲ス者ニ債務者ノ氏名又ハ名稱、債權ノ金額、取立ヲ爲サシメントスル金額其ノ他取立ニ關シ必要ナル事項ヲ通知スベシ

第九條

銀行債權ノ取立ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク取立金ヲ政府ニ納付スベシ但シ銀行補償ヲ受ケザル損失アル場合ニ於テハ政府ニ納付スベキ額ハ補償ヲ受ケタル額ト之ヲ受ケ

ザル額トノ割合ニ應ジ之ヲ定ム

銀行農林大臣ノ認可ヲ受ケ手数料其ノ他取立ニ必要ナル費用ヲ支拂ヒタルトキハ取立金ヨリ先ヅ之ヲ控除スルコトヲ得

附則

本令ハ絲價安定融資補償法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●絲價安定融資損失善後處理法

●法律第十九號

昭和七年七月一日公布

第一條 政府ハ銀行ニ對シ左ノ各號ノ一ニ該當スル銀行ノ損失ニ付千五百八十七萬圓ヲ限り之ヲ補填スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

一 銀行ガ絲價安定融資補償法第一條ノ規定ニ依リ本法施行前ニ政府ト爲シタル損失補償ノ契約ニ基キ損失ノ補償ヲ受ケタル場合ニ於テ尙補償ヲ受ケザル損失アルトキハ其ノ損失

二 銀行ガ帝國蠶絲株式會社ニ對シ同社ガ絲價安定ノ爲昭和四年十一月ヨリ昭和五年六月迄ノ間ニ於テ行ヒタル生絲共同保管事業ノ資金トシテ生絲ヲ擔保トシテ爲シタル

資金ノ融通ニ付受ケタル損失

前項第二號ノ損失ハ銀行ガ擔保トシテ受取リタル生絲ニ付
債權ノ辨濟ヲ受ケ尙不足アルトキ其ノ不足分トス

第二條 政府ノ補填スベキ額ハ損失補填ノ契約ニ定ムル條件
ニ從ヒ絲價安定融資補償法ニ依ル絲價安定融資補償審査會
之ヲ決定ス

第三條 政府ガ銀行ニ對シテ交付スベキ損失補填金ハ五分利
附國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

第四條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限
度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

第五條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參
酌シテ主務大臣之ヲ定ム

第六條 絲價安定融資補償法第九條ノ規定ハ同法第一條ノ規
定ニ依リ本法施行前銀行ガ政府ト爲シタル損失補償ノ契約
ニ付テハ之ヲ適用セズ

第七條 損失ノ補填ヲ受クルノ契約ヲ爲シタル銀行ガ本法ニ
基キテ發スル命令又ハ損失補填ノ契約ニ違反シタルトキハ
政府ハ契約ヲ解除シ、損失ノ全部若ハ一部ニ付補填ヲ爲サズ
又ハ損失補填金ノ全部若ハ一部ノ償還ヲ命ズルコトヲ得
第八條 本法ノ適用ニ付テハ産業組合中央金庫ハ之ヲ銀行ト
看做ス

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 絲價安定融資損失善後處理法施行規則

● 農林省令第六號

昭和七年七月一日

- 第一條 銀行(産業組合中央金庫ヲ含ム以下同ジ)絲融安定融資損失善後處理法第一條ノ規定ニ依ル損失補填ノ契約ヲ爲サントスルトキハ申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ
- 農林大臣ハ前項ノ申請ヲ爲シタル銀行ヲシテ損失補填ノ契約ヲ爲スニ付必要ト認ムル書類ヲ提出セシムルコトアルベシ
- 第二條 銀行損失ノ補填ヲ受ケントスルトキハ請求書ニ損失ニ關スル計算書及必要ナル證據書類ヲ添へ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ
- 第三條 銀行債權ノ取立ヲ爲スニ付テハ其ノ取立方法ヲ定メ

農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ
附則

本令ハ絲價安定融資損失善後處理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●絲價安定融資擔保生絲買收法

●法律第十八號

昭和七年七月一日公布

第一條 政府ハ生絲ノ價格ノ安定ヲ圖ル爲左ニ掲グル生絲ヲ

一括シテ買入ル、コトヲ得

一 銀行ガ絲價安定融資補償法第一條ノ規定ニ依リ本法施行前ニ政府ト爲シタル損失補償ノ契約ニ基キ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ニ對シテ爲シタル資金融通ノ擔保タル生絲七千四百四十一荷口

二 銀行ガ帝國蠶絲株式會社ニ對シ同社ガ絲價安定ノ爲昭和四年十一月ヨリ昭和五年六月迄ノ間ニ於テ行ヒタル生絲共同保管事業ノ資金トシテ爲シタル資金融通ノ擔保タル生絲二千三百九十荷口

第二條 生絲ノ買入代價ハ一荷口四千五百二十二圓二十五錢トス

政府ノ買入レタル生絲中検査ノ結果品質著シク不良ナリト認ムルモノアルトキハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ買入代價ノ一部ヲ返還セシム

第三條 政府ハ其ノ買入レタル生絲ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ

第一條ノ銀行ヲシテ保管セシムルコトヲ得

前項ノ保管ニ要スル經費ハ銀行ノ負擔トス

第四條 生絲ノ買入代價ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ買入ノ

日ヨリ五年間ニ之ヲ分割シテ支拂フコトヲ得

第二條第二項ノ返還金ハ前項ノ支拂金額ヨリ之ヲ控除スルコトヲ得

第五條 生絲ノ買入代價ハ五分利附國債證券ヲ以テ之ヲ交付

スルコトヲ得

第六條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

第七條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ主務大臣之ヲ定ム

第八條 政府ノ買入レタル生絲ノ處分ハ命令ノ定ムル所ニ依リ新規ノ用途又ハ販路ニ向ケラルベキ場合ニ限り之ヲ爲スコトヲ得

第九條 前條ノ規定ニ依ル生絲ノ處分ニ依ル收入金ニ相當スル金額ハ國債整理基金特別會計法第二條ノ規定ニ依ル繰入ノ外國債ノ元金償還ニ充ツル爲之ヲ一般會計ヨリ國債整理基金特別會計ニ繰入ルベシ但シ本法ニ依リ發行シタル公債ノ前年度首ニ於ケル未償還額ノ萬分ノ百十六ニ相當スル金

額ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十條 本法ノ適用ニ付テハ産業組合中央金庫ハ之ヲ銀行ト看做ス

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第九條但書ノ規定ニ依リ繰入ヲ要セザル金額ハ當分ノ内本法ニ依リ發行シタル公債ノ前年度首ニ於ケル未償還額ノ萬分ノ百十六ニ相當スル金額ノ三分ノ一トス

● 絲價安定融資擔保生絲買收法施行規則

● 農林省令
大藏省令

昭和七年七月一日公布

第一條 農林大臣ハ買入生絲ノ荷口ニ付絲價安定融資擔保生

絲買收法第二條第二項ノ規定ニ依ル検査ヲ生絲検査所ヲシテ行ハシメ當該荷口中左ノ各號ノ一ニ該當スル生絲アリト認ムルトキハ買收生絲審査會ノ議ヲ經テ其ノ買入代價ノ一部返還金額ヲ決定ス

一 切絲、蟲喰絲其ノ他著シク損傷シタルモノ

二 著シク強伸力ヲ失ヒタルモノ

三 著シク微ノ附著シタルモノ

四 著シク認めノ膠著シタルモノ

前項ノ規定ニ依リ返還金額決定シタルトキハ農林大臣ハ遲

滞ナク銀行(産業組合中央金庫ヲ含ム以下同ジ)ニ之ヲ通知ス
 第二條 絲價安定融資擔保生絲買收法第三條ノ規定ニ依リ政
 府ガ銀行ヲシテ買入生絲ヲ保管セシムル期間ハ之ヲ銀行ガ
 政府ノ爲ニ買入生絲ノ保管ヲ開始シタル日ヨリ五年以内ト
 ス

農林大臣ハ銀行ニ對シ絲價安定融資擔保生絲買收法第三條
 ノ規定ニ依ル保管ニ關シ必要ナル指揮又ハ命令ヲ爲スコト
 ヲ得

第三條 生絲ノ買入代價ハ其ノ買入ノ日ヨリ五年間二十回ニ
 分割シテ之ヲ支拂ヒ第一回ノ支拂金額ハ之ヲ七百五十萬圓
 トシ殘額ハ之ヲ九回ニ分割シテ支拂フモノトス
 前項ノ分割支拂ノ時期ハ第一回ノ支拂ヲ除クノ外昭和八年
 以降毎年六月及十二月トス

第四條 第一條第一項ノ規定ニ依リ返還金額決定シタルトキ
 ハ其ノ直後ノ前條ノ規定ニ依ル分割支拂金額ヨリ之ヲ控除
 ス但シ生絲ノ買入代價ノ支拂ヲ完了シタル後ニ於テハ銀行
 ハ第一條第二項ノ規定ニ依リ農林大臣ヨリ通知ヲ受ケタル
 トキハ直ニ之ヲ政府ニ納入スベシ

第五條 新規ノ用途又ハ販路ニ向クル目的ヲ以テ買入生絲ヲ
 讓受ケントスル者ハ申請書ニ其ノ用途又ハ販路ヲ詳細ニ記
 載シ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

第六條 政府ガ買入生絲ヲ賣却セントスルトキハ生絲需要増
 進調査會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

第七條 生絲ノ新規ノ用途又ハ販路ノ開拓ノ爲必要ナル場合
 ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキニ限り政府ハ買入生絲
 ヲ其ノ用ニ供スルコトヲ得

- 一 加工シ又ハ加工セズシテ博覽會、展覽會等へノ出品ノ用ニ供スルトキ
- 二 加工シ又ハ加工セズシテ標本ノ用ニ供スルトキ
- 三 試験研究ノ用ニ供スルトキ
- 四 前各號ノ外生絲需要増進調査會ノ適當ト認ムル用ニ供スルトキ

附 則

本令ハ絲價安定融資擔保生絲買收法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 絲價安定融資擔保生絲買收法ニ依リ
買入レタル生絲ノ讓與ニ關スル件

● 勅令第百六號

昭和七年七月一日公布

生絲ノ新規ノ用途又ハ販路ノ開拓ノ爲絲價安定融資擔保生絲買收法ニ依リ政府ノ買入レタル生絲ヲ利用セントスル者ニ對シ農林大臣ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限り之ヲ讓與スルコトヲ得

- 一 利用者ガ加工シ又ハ加工セズシテ博覽會、展覽會等へノ出品ノ用ニ供セントスルトキ
- 二 利用者ガ加工シ又ハ加工セズシテ標本ノ用ニ供セントスルトキ
- 三 利用者ガ試験研究ノ用ニ供セントスルトキ

農林大臣前項ノ規定ニ依リ讓與ヲ爲スニ付テハ前項ノ利用者
其ノ讓與ヲ受ケタル生絲又ハ其ノ加工品ヲ前項各號ノ用ニ供
シタル後之ヲ處分シ又ハ他ノ用ニ供セントスル場合ハ農林大
臣ノ認可ヲ受クベキコトノ條件ヲ附スベシ

附 則

本令ハ絲價安定融資擔保生絲買收法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 絲價委員會官制

● 勅令第二百五十七號

昭和四年八月十三日公布

第一條 絲價委員會ハ農林大臣ノ監督ニ屬シ絲價安定融資補

償法第一條第二項第二號同條第三項及第五條第二項ノ規定

ニ依リ其ノ權限ニ屬セシメタル事項ヲ調査審議ス

絲價委員會ハ前項ノ外農林大臣ノ諮問ニ應ジ絲價安定融資

補償法ニ依ル生絲ノ價格安定ニ關スル重要事項ヲ調査審議

ス

第二條 絲價委員會ハ會長一人及委員十人以内ヲ以テ之ヲ組

織ス

第三條 會長ハ農林大臣ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ左ニ掲グル者ノ中ヨリ農林大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ

於テ之ヲ命ズ

- 一 關係各廳高等官
- 二 日本銀行副總裁
- 三 橫濱正金銀行頭取
- 四 産業組合中央金庫理事長
- 五 蠶絲業同業組合中央會會長
- 六 社團法人大日本蠶絲會會頭

第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ農林大臣ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第五條 絲價委員會ハ農林大臣ヲ經テ蠶絲業者其ノ他蠶絲ニ關シ知識經驗アル者ヨリ意見書ヲ徵シ又ハ其ノ出席ヲ求メテ意見ヲ聽クコトヲ得

第六條 絲價委員會ニ幹事ヲ置ク農林大臣ノ奏請ニ依リ内閣

ニ於テ之ヲ命ズ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第七條 絲價委員會ニ書記ヲ置ク農林大臣之ヲ命ズ

書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附 則

本令ハ絲價安定融資補償法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●絲價安定融資補償審査會官制

●勅令第十八號

昭和六年三月二十六日公布
改正 勅令第七號昭和七年七月一日公布

第一條 絲價安定融資補償審査會ハ農林大臣ノ監督ニ屬シ絲價安定融資補償法ニ依ル資金ノ融通ニ因リテ銀行(産業組合中央金庫ヲ含ム)ノ受ケタル損失ニ付政府ノ補償スベキ額ヲ決定ス

絲價安定融資補償審査會ハ前項ノ外絲價安定融資損失善後處理法ニ依ル損失補填ノ契約ニ基キ政府ノ補填スベキ額ヲ決定ス(昭和七年七月一日公布勅令第七號追加)

第二條 絲價安定融資補償審査會ハ會長一人及委員十人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 會長ハ農林大臣ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ農林大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ農林大臣ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第五條 絲價安定融資補償審査會ニ幹事ヲ置ク農林大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六條 絲價安定融資補償審査會ニ書記ヲ置ク農林大臣之ヲ命ズ

書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

●生絲需要増進調査會官制

●勅令第七十二號

昭和七年七月二十三日公布

第一條 生絲需要増進調査會ハ農林大臣ノ監督ニ屬シ其ノ諮問ニ應ジ生絲ノ新規ノ用途又ハ販路ノ開拓其ノ他繭絲ノ需要増進ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

調査會ハ前項ノ外農林大臣ノ諮問ニ應ジ絲價安定融資擔保生絲買收法ニ依リ政府ノ買入レタル生絲ノ處分ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

第二條 調査會ハ會長一人及委員十五人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

特別ノ事項ヲ調査審議スル爲必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第三條 會長ハ農林大臣ヲ以テ之ニ充ツ

委員及臨時委員ハ農林大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官及
學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ農林大臣ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ
代理ス

第五條 調査會ニ幹事ヲ置ク農林大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於
テ之ヲ命ズ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六條 調査會ニ書記ヲ置ク農林大臣之ヲ命ズ
書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ絲價安定融資損失善後處理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和七年七月一日公布勅令第百七號追加)

●買收生絲審査會規則

昭和七年七月十六日決議ニヨリ設置
(昭和七年七月十五日閣議承認)

第一條 買收生絲審査會ハ農林大臣ノ監督ニ屬シ其ノ諮問ニ
應ジ絲價安定融資擔保生絲買收法ニ依ル買入生絲ノ買入代
價ノ一部返還ニ關スル事項ヲ調査審議ス

第二條 審査會ハ會長一人及委員七人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 會長ハ農林大臣ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ左ニ掲グル者ノ中ヨリ農林大臣之ヲ命ジ又ハ囑託ス

- 一 大藏省高等官
- 二 農林省高等官
- 三 日本中央蠶絲會會長
- 四 橫濱正金銀行頭取
- 五 生絲輸出業者

六 生絲問屋業者

第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ農林大臣ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス

第五條 審査會ニ幹事ヲ置ク關係各廳高等官ノ中ヨリ農林大臣之ヲ命ジ又ハ囑託ス

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六條 審査會ニ書記ヲ置ク農林省判任官ノ中ヨリ農林大臣之ヲ命ズ

書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス